

第142期

報 告 書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援をたまわり厚くお礼を申し上げます。

ここに当社第142期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、昨年3月に発生いたしました「東日本大震災」と、その影響により起こりました「東京電力福島第1原子力発電所」の爆発事故、そして期中にはタイの洪水による主要企業の被害、ヨーロッパの信用不安に発する世界経済の停滞の中での円高、株安等『6重苦』とも言われる程の悪条件の中で推移いたしました。

このような状況の下で、当社は夏期、冬期の「節電協力」は勿論のこと、全社をあげての経費削減や新製品開発にも注力いたしました。

この結果、受注面では前期比3.2%減の8,240,257千円、売上高は同0.4%減収の8,230,000千円となりました。

事業別では、セラミックス事業は上半期が好調に推移いたしましたことで、下半期の減収分をкаろうじてカバーいたし、前期比2.9%増収の6,024,029千円となりました。

なお、市場別による分類では、前年度とあまり大きな変動はなく、電子部品向けが56.1%、化学・窯業・鉄鋼向けが17.4%、環境・エネルギー向けが6.0%となりました。

次にエンジニアリング事業につきましては、当期は大形物件がなく、年度後半に盛り返しましたものの、売上高は前期比8.5%減収の2,205,971千円となりました。

なお、市場別による分類では、電子部品向けが45.3%で半分近くを占め、次いで環境・エネルギー向け18.0%、半導体向け13.7%、化学・窯業・鉄鋼向け11.4%となりました。

損益面につきましては、売上高は前期比僅かに減少いたしました。が、売上原価比率に変化なく、販売管理費比率につきましては、一部開発品を研究開発部門より製造部門に移管したこともございますが、1.0%低下し、営業利益は同8.9%増益の924,339千円、経常利益は同8.3%増益の943,898千円となりました。

当期純利益は、当期は特別損失に目立ったものがなかったことにより、同16.4%増益の588,163千円となりました。

当期の配当金につきましては、以上の経過を踏まえ、期末配当金は1株につき7円といたし、中間配当と合わせまして年14円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、世界経済は多少の落ち着きが戻り、国内でも期の後半にかけては明るさも言われておりますが、夏の「電力不足問題」等、この先クリアしなくてはならない課題が目白押しで、全く予断は許しません。

このような状況の下、当社は一部製造設備の移転を含め、さらなる合理化を図ると共に、新規設備の導入も積極的に推進し、売上の増大にも努めていく所存でございます。

第143期の業績見通しにつきましては、当期は前半は苦戦が予想されますものの、前述いたしました新製品の売上増大が後半には見込まれますことから、売上高91億円、経常利益10億5千万円、当期純利益5億7千万円を予定いたしております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。

取締役社長

西村 隆



経営方針

経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますとともに、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向は20~40%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

中長期的な経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

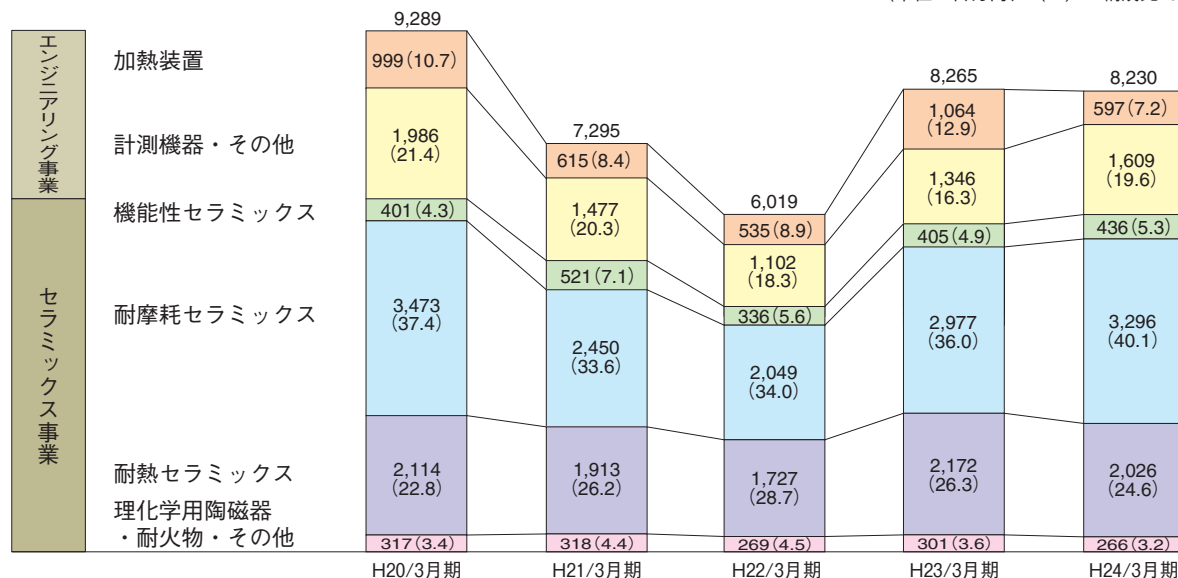
当社の中期的な経営戦略は、毎年見直しを行っております、向こう3年間の「中期計画」に基づいて進めてまいります。

その重点課題は次のとおりであります。

- ① 環境・省エネ用セラミックス並びに耐摩耗セラミックスにおけるジルコニアボールと粉砕機用部材の生産能力増強。
- ② 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と生産改革による生産合理化の推進。
- ③ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品およびエンジニアリング新商品の開発と拡販。
- ④ 内部統制システムの構築に基づくリスク管理の強化や内部監査の充実によるさらなる内部管理体制の整備。

事業別売上高・構成比

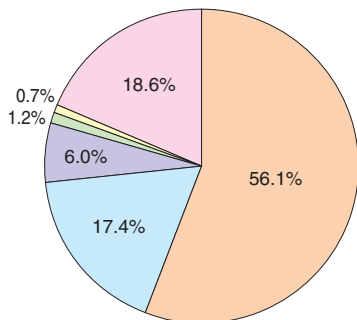
(単位：百万円、() は構成比%)



(注) 当社はH21/3月期より連結計算書類を作成しております。H20/3月期は単体業績の数値を掲載しております。

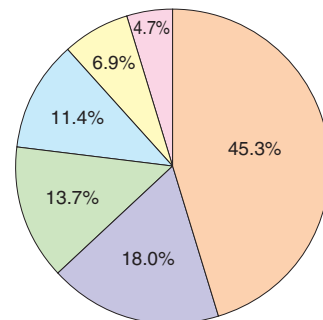
市場別構成比 (H24/3月期)

セラミックス事業



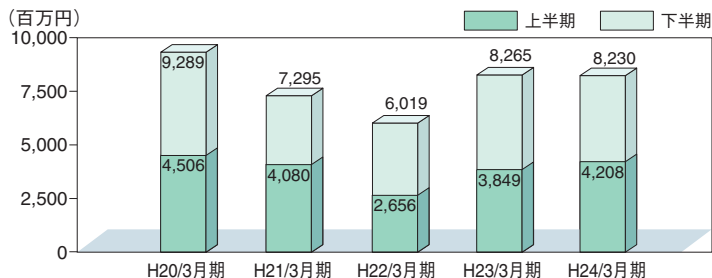
- 電子部品
- 化学・窯業・鉄鋼
- 自動車・重機
- 環境・エネルギー
- 半導体
- その他

エンジニアリング事業

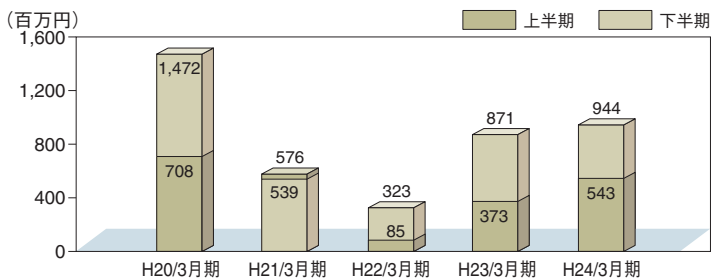


業績の推移

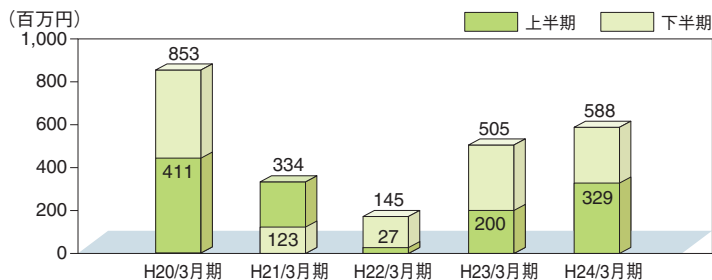
売上高



経常利益

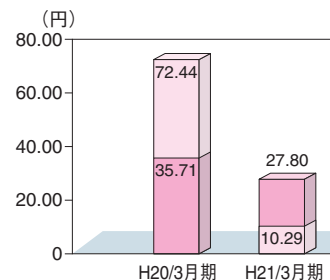


当期純利益



項目	平成20年3月期 第138期	平成21年3月期 第139期
受注高(千円)	8,767,742	6,753,951
売上高(千円)	9,289,061	7,294,505
経常利益(千円)	1,472,097	538,885
当期純利益(千円)	852,937	123,290
1株当たり当期純利益(円)	72.44	10.29
純資産(千円)	7,771,823	7,574,753
総資産(千円)	10,773,444	9,938,587
総資産経常利益率(%)	14.0	5.4
自己資本当期純利益率(%)	11.7	1.6
売上高営業利益率(%)	15.8	6.9

1株当たり当期純利益

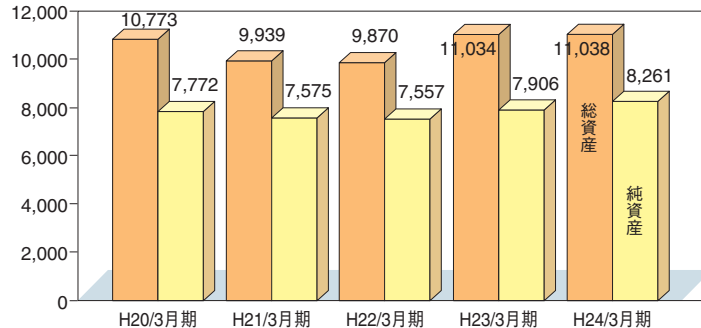


(注) 当社は第139期より連結計算書類を作成しております。第138期は単体業績の数値を掲載しております。

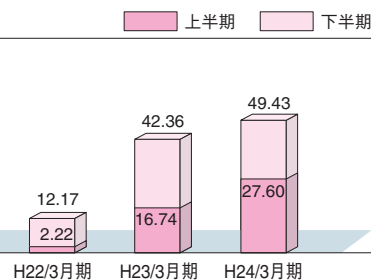
● 総資産・純資産

平成22年3月期 第140期	平成23年3月期 第141期	平成24年3月期 第142期
6,147,706	8,508,725	8,240,257
6,018,543	8,265,014	8,230,000
323,477	871,157	943,898
145,087	505,132	588,163
12.17	42.36	49.43
7,556,878	7,906,014	8,260,914
9,870,286	11,034,354	11,037,618
3.3	8.3	8.6
1.9	6.5	7.3
3.9	10.3	11.2

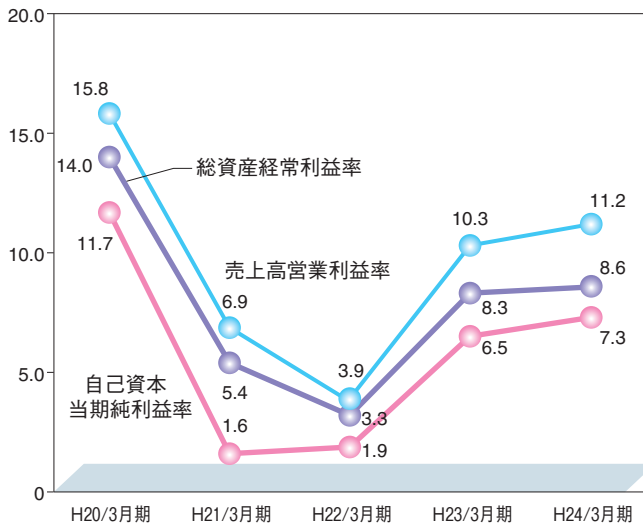
(百万円)



● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率



(%)



連結貸借対照表

資 産 の 部			
期 別	第142期	第141期	第140期
科 目	(平成24年 3月31日現在)	(平成23年 3月31日現在)	(平成22年 3月31日現在)
流 動 資 産	6,050,489	6,411,294	5,415,465
現 金 預 金	1,505,524	2,024,905	1,730,578
受 取 手 形	936,393	938,580	779,869
売 掛 金	1,827,913	1,653,299	1,420,547
有 価 証 券	30,581	332,005	30,533
商 品 ・ 製 品	512,664	579,015	583,311
その他のたな卸資産	1,103,729	719,215	711,592
繰 延 税 金 資 産	90,538	128,435	81,078
そ の 他	50,044	41,620	81,952
貸 倒 引 当 金	△ 6,900	△ 5,783	△ 3,999
固 定 資 産	4,987,128	4,623,059	4,454,821
有形固定資産	3,679,035	3,359,355	3,322,484
建 物	1,601,778	1,623,285	1,722,900
機 械 装 置	1,285,326	1,047,427	1,196,842
土 地	480,161	205,031	205,031
そ の 他	311,768	483,610	197,709
無形固定資産	32,870	18,704	23,078
投資その他の資産	1,275,222	1,244,999	1,109,258
投 資 有 価 証 券	870,538	838,461	860,803
事 業 保 険 掛 金	28,483	27,518	23,714
破 産 更 生 債 権 等	—	114	—
繰 延 税 金 資 産	64,639	76,509	56,250
そ の 他	311,561	302,509	168,489
貸 倒 引 当 金	—	△ 114	—
資 産 合 計	11,037,618	11,034,354	9,870,286

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第142期 (平成24年3月31日現在)	第141期 (平成23年3月31日現在)	第140期 (平成22年3月31日現在)
科目			
流動負債	2,248,963	2,759,838	1,974,189
支払手形	—	58,343	54,702
買掛金	969,271	1,162,792	830,475
短期借入金	400,000	402,000	402,000
1年以内返済予定の長期借入金	250,808	175,972	168,512
未払消費税等	—	102,558	—
未払法人税等	106,304	336,859	103,340
賞与引当金	212,000	229,000	172,500
その他	310,579	292,311	242,658
固定負債	527,740	368,500	339,219
長期借入金	272,288	106,714	124,012
退職給付引当金	36,910	42,640	41,846
役員退職慰労引当金	113,615	116,175	105,208
預り保証金	68,147	69,149	68,152
資産除去債務	36,780	33,820	—
負債合計	2,776,703	3,128,339	2,313,408
純資産の部			
株主資本	8,390,595	8,028,133	7,654,293
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,221,859	1,221,859	1,221,859
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	133,438	133,438	133,438
利益剰余金	6,010,342	5,577,196	5,203,235
利益準備金	206,240	206,240	206,240
その他利益剰余金	5,804,101	5,370,955	4,996,995
別途積立金	4,600,100	4,600,100	4,600,100
繰越利益剰余金	1,204,001	770,855	396,895
自己株式	△162,346	△91,662	△91,541
その他の包括利益累計額	△129,680	△122,118	△97,415
その他有価証券評価差額金	△129,680	△122,118	△97,415
純資産合計	8,260,914	7,906,014	7,556,878
負債および純資産合計	11,037,618	11,034,354	9,870,286

連結損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第142期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第141期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	第140期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	8,230,000	8,265,014	6,018,543
売上原価	6,124,285	6,146,386	4,695,593
売上総利益	2,105,715	2,118,628	1,322,950
販売費および一般管理費	1,181,375	1,269,571	1,090,851
営業利益	924,339	849,057	232,099
営業外収益	40,557	40,701	109,432
営業外費用	20,997	18,601	18,054
経常利益	943,898	871,157	323,477
特別利益	—	—	—
特別損失	2,685	44,559	87,537
税金等調整前当期純利益	941,213	826,597	235,940
法人税、住民税および事業税	303,282	389,081	108,000
法人税等還付税額	—	—	△ 2,225
法人税等調整額	49,767	△ 67,615	△ 14,921
少数株主損益調整前当期純利益	588,163	505,132	—
当期純利益	588,163	505,132	145,087

連結株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

第142期 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当連結会計年度期首残高	1,320,740	1,221,859	5,577,196	△ 91,662	8,028,133	△ 122,118	7,906,014
当連結会計年度変動額							
剰余金の配当			△ 155,017		△ 155,017		△ 155,017
当期純利益			588,163		588,163		588,163
自己株式の取得				△ 70,683	△ 70,683		△ 70,683
株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額						△ 7,562	△ 7,562
当連結会計年度変動額合計	—	—	433,145	△ 70,683	362,462	△ 7,562	354,900
当連結会計年度末残高	1,320,740	1,221,859	6,010,342	△ 162,346	8,390,595	△ 129,680	8,260,914

連結貸借対照表・連結損益計算書に対する注記

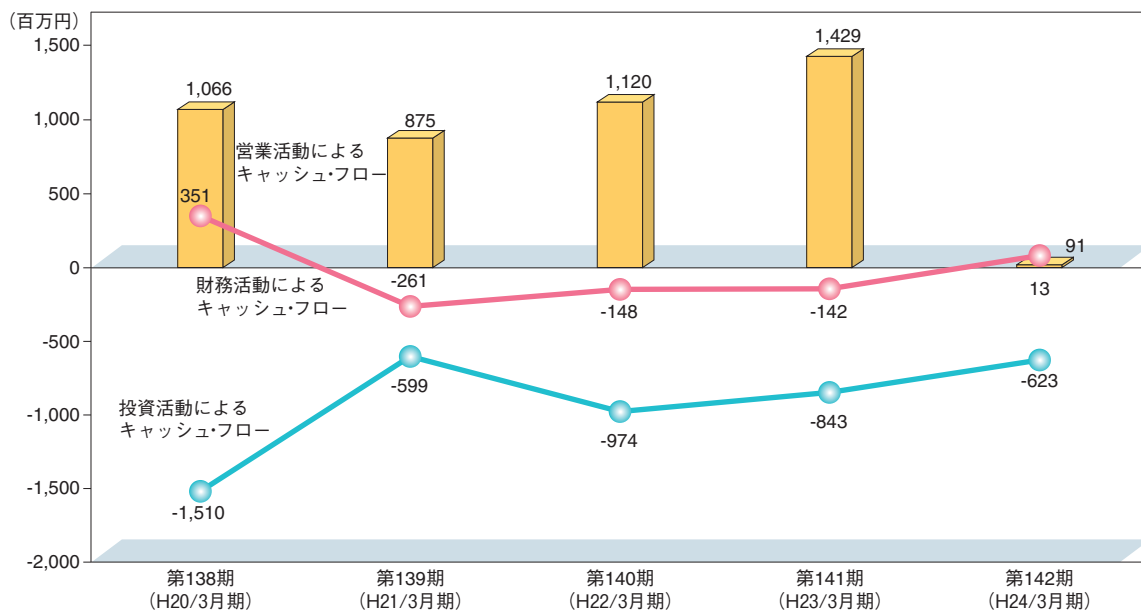
	第142期	第141期	第140期
1. 有形固定資産減価却累計額	7,514,553千円	7,021,990千円	6,627,670千円
2. 担保に供している資産			
建物、土地	626,773千円	583,922千円	1,057,269千円
投資有価証券	36,397千円	34,676千円	40,410千円
3. 1株当たり当期純利益	49円43銭	42円36銭	12円17銭

キャッシュ・フロー

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益は増加しましたものの、棚卸資産の増加や仕入債務の減少、さらには法人税等支払額の増加により前期比93.6%減の91百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、引続き生産設備増強のため設備投資は旺盛ですが、有価証券を売却しましたことにより前期比220百万円増の623百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、土地取得のために長期借入金を調達しましたことが影響し、前期比155百万円増の13百万円のプラスとなりました。



(注) 当社は第139期より連結計算書類を作成しております。第138期は単体業績の数値を掲載しております。

ベアリング用セラミックスボール（SNT07）の増産に向けた新建屋14号棟について

当社は平成19年より新製品SNT07ボールの開発を(株)ツバキ・ナカシマと共同で行ってまいりました。SNT07ボールは高強度・高靱性・低比重など優れた特性を有した材質で、その用途は特に優れた摩耗特性を活かしてベアリング用ボールとして利用されます。

この度、今後の市場拡大が予測されることから、これに伴う増産に備え14号棟の改築を中心とした、周辺環境の整備を行ってまいりました。

14号棟は、現在地での創業当時から唯一残っていた木造の建屋を取り壊し、平成23年12月に新しく完成いたしました。主に焼成工程に関する装置類を設置する建屋で敷地面積約171㎡、延床面積約210㎡の鉄骨コンクリートスレート張りの吹き抜けの建屋となっております。

14号棟に設置した設備を稼働させることにより、現在の数倍の生産能力を有することとなり、お客様の要求に安定して製品を供給することが可能となります。

子会社の合併と水戸営業所の統合について

当社子会社の関東電子計測(株)は北関東地区において45年間に亘り各種の計測器、工業計測機器を販売してきましたが、一層の効率的営業活動を展開し、シナジー効果を高めるために会社清算を行い、当社が同社事業を譲り受け北関東営業所の業容拡大をはかることといたしました。

また近年北関東高速道路の全線開通により、同所の栃木県小山市から、茨城県、群馬県の中心部までは1時間程度で行動できるようになりましたので、更なる効率化を目的に38年間茨城県の地域に密着した営業活動をしてまいりました水戸営業所を今年4月1日付で北関東営業所に統合いたしました。

今後セラミックス製品とエンジ商品を合わせた総合的な販売活動を展開して、より一層の成果向上を目指してまいります。



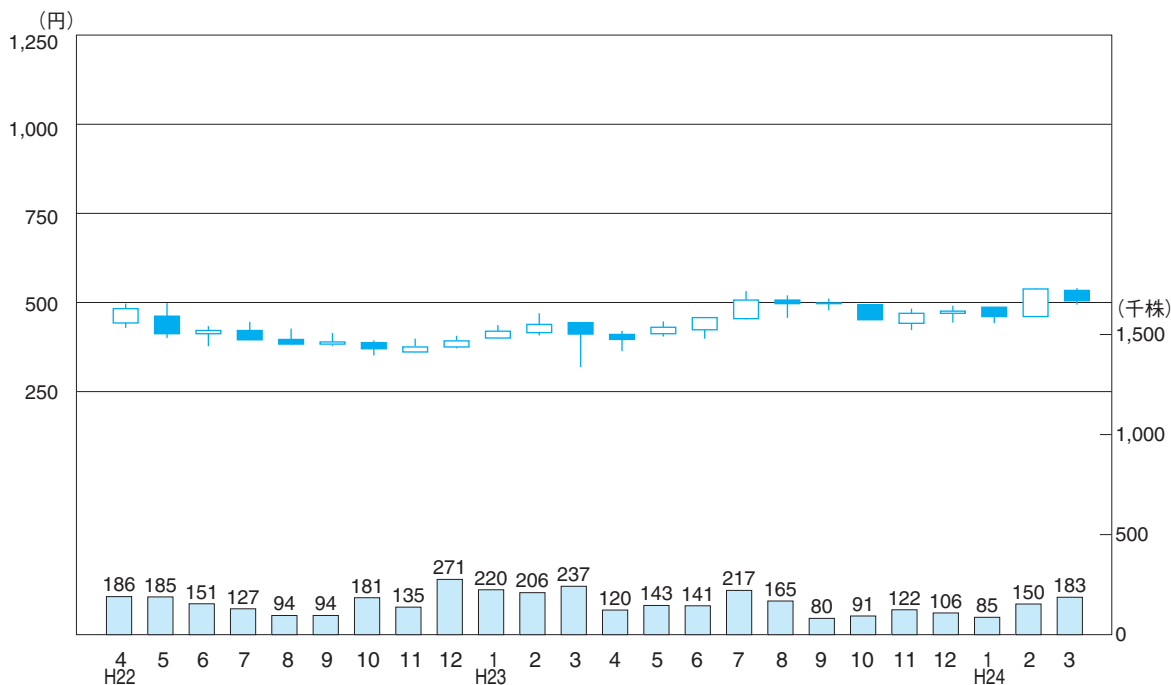
株式の状況 (平成24年 3月31日現在)

● 発行可能株式総数
37,280,000株

● 発行済株式総数
11,774,181株
(自己株式361,514株を除く。)

● 株主数
2,533名

● 株価・株式売買高



● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
東ソー株式会社	599	5.1
株式会社チノー	574	4.9
ニッカトール取引先持株会	562	4.8
株式会社みずほ銀行	499	4.2
ニッカトール従業員持株会	460	3.9
株式会社共和電業	400	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	391	3.3
朝日生命保険相互会社	353	3.0
西村 明	250	2.1
株式会社クボタ	200	1.7

(注) 当社は自己株式361,514株を保有しております。

会社の概要 (平成24年4月1日現在)

NIKKATO

- 創 業 大正2年6月
- 資 本 金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックスおよび計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所
本 社 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641
東 京 支 社 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
セラミックス営業本部 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681
名古屋営業所 〒465-0092 愛知県名古屋市中区社台3-247(第3名昭ビル) ☎(052)777-9091
九州営業所 〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸2丁目4番21号(ワカバビル) ☎(092)736-1285
北関東営業所 〒323-0822 栃木県小山市駅南町1丁目18番12号 ☎(0285)27-2340
堺 工 場 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643
東 山 工 場 〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地 ☎(072)278-0385

役 員 (平成24年6月22日現在)

代 表 取 締 取 締	取 締 取 締	取 締 取 締	縮 社 縮 社 縮 社	役 長 役 長 役 長 役	西 村 隆 清 水 奉 明 星 野 尹 飴 山 久 道 大 西 宏 司	取 締 取 締 常 勤 監 査 役 ※ 監 査 役 ※	取 締 取 締 常 勤 監 査 役 ※ 監 査 役 ※	安 岡 土 井 小 森 西 村 白 間	廣 二 司 昭 次
----------------------------	------------------	------------------	----------------------------	---------------------------------	--	--	--	--	-----------------------

(注) ※印の監査役は、社外監査役であります。

会 計 監 査 人 清 稜 監 査 法 人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.nikkato.co.jp>)

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒541-8502

大阪府中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

0120-094-777 (通話料無料)